

改修工事が終了しました

7月から10月末にかけて改修工事が行われ、白光園がリニューアルしました。

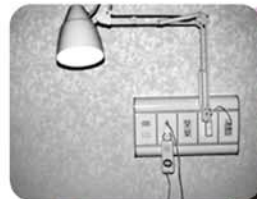


- 冷暖房設備
- ナースコール
- 多床室模様替え



利用者様の声

★ナースコール



- ・前よりボタン大きくなってよ〜っく聞こえる
- ・耳元で聞こえっからいいな〜
- ・夜、光つから、どご押したかすぐわかる〜。

★エアコン



- ・廊下さついだがら、どさいでもあったか〜いいな〜
- ・上(天井)から風くるなでたまげだ〜
- ・いっつも春みだいだなあ

★居室



- ・壁の模様(壁紙)がきれいだな〜
- ・部屋の中、明るくなって最高だ!
- ・きれいなお部屋で、皆様のお世話になって楽しんでおります。

★スプリンクラー

- ・山形県社会福祉施設整備費補助金を受けて防災強化を図り、より安心安全な生活ができるようスプリンクラーを整備しました。工事は1月末に完了しました。

これからも利用者様の過ごしやすい環境づくりに努力してまいります。



白鷹福祉会設立三十周年を迎えて

白鷹福祉会理事長 新野 晃 敏

昭和五十四年六月に設立された白鷹福祉会は、昨年ついに三十周年と言う大きな節目の年を迎え、平成二十一年十一月二十一日(土)にはパレス松風で、吉村知事をはじめ大勢のご来賓にご臨席を賜り、晴れて三十周年の記念式典を開催することができました。私どもの福祉会が今日まで何とか歩みが続けて来ることができましたのは、偏にご指導とご支援をいただいた県及び町ご当局、さらには地域の皆様や各種ボランティアの方々の献身的なご協力のお蔭であり、これまでお世話になった全ての方々へ心より感謝を申し上げます。

昭和五十三年当時、白鷹町の高齢化率は既に十五%に達し、介護を必要とする高齢者が多数おられたにも拘わらず、多くのご家庭で介護が困難な状況にあったため、当時の故菊地町長はドイツ留学の経験がありヨーロッパの福祉事情に明るい柳沢文憲元町立病院院長の進言を聞き入れて、特別養護老人ホームの新設を決断されました。そして、県当局や白鷹町を始め、当時の厚生省その他各方面にご指導とご支援を仰ぎながら、昭和五十四年六月二十三日、厚生省社第五百七十九号をもって法人の設立が認可されたのであります。

昭和五十五年二月二十九日に施設が立派に完成し、昭和五十五年四月一日に社会福祉法人白鷹福祉会特別養護老人ホーム白光園が、定員五十名で開園されました。その後、町の「健康と福祉の里構想」により順次増築工事を重ね、現在ではデイサービスセンター二ヶ所、東京都委託の知的障がい者更生施設「白鷹陽光学園」の設置運営など、一法人四施設を経営しています。そして白光園に関しては、平成二十一年度の事業として老朽化した冷暖房装置とナースコールの改修工事、さらには、吉村知事の福祉に対する施策の支援を受けて、スプリンクラーの設置等を新たに行いました。また陽光学園の念願であったケアホー

ム「陽だまり」の建設も、関係各位のご努力により見事に完成し、現在六名の利用者が生き生きとした共同生活を送っています。

記念式典当日は、式典前の僅かな時間ではありましたが、吉村知事に白光園までおいでいただき、利用者の方々に親しく声をかけていただきましたが、同席した利用者の多くが感激して目に涙を浮かべているのを見て、私も目頭が熱くなる思いでした。白光園と言う名前は「白鷹に光を」と言う意味ですが、白鷹福祉会の設立にご尽力いただいた当時の先輩たちの思いをしっかりと受け継ぎながら、これからも社会福祉の分野に更なる光をあてる努力をして参りますので、皆様方には今後ともなお一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

